

DREAMS COME TRUE度

アンケート

アンケート調査の概要

1 アンケートの方法

(1)『一般住民』を対象に、基本的に各市町村職員による聞き取りにより調査を行った。

※奄美市と徳之島町については、目標とする標本数が多いので、住民を無作為に抽出してもらい、広域でアンケートを送付した。

(2)『重点3分野関係者』を対象に、各市町村を通じて調査を行った。

※観光分野については奄美群島観光物産協会を通じて、各島の観光協会に依頼し、FAX調査を行った。

(3) 与論島については新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため『一般住民』向けのアンケートは実施しなかった。

※『重点3分野関係者』へのアンケートのみ実施した。(3件回答)

2 アンケートの実施期間

令和2年8月3日(月)～令和2年8月20日(木)(18日間)

3 有効回答数

1,401

(内訳右表参考)

4 回答者属性

年代構成及び男女比は各島で示す

奄美群島島別回答者数及び構成比

(単位:人、%)

島	人数	構成比
奄美大島	814	58.1
喜界島	75	5.4
徳之島	332	23.7
沖永良部島	177	12.6
与論島	3	0.2
計	1,401	100.0

1 奄美群島

アンケート項目

○ DREAMS COME TRUE度

奄美群島民の夢が実現(様々なチャレンジ、新しい取組みの成功)し、希望にあふれていることを示す指標。

(以下、本レポート全ての項目に同じ)

指標は、毎年実施するアンケートによって把握し、統計等では測ることができない精神的な面を捉える指標として位置づける。

回答者属性

奄美群島年代別回答者数

(単位:人、%)

年代	人数	構成比
10代	179	12.8
20代	78	5.6
30代	148	10.6
40代	177	12.6
50代	203	14.5
60代以上	616	44.0
未回答	0	0.0
計	1,401	100.0

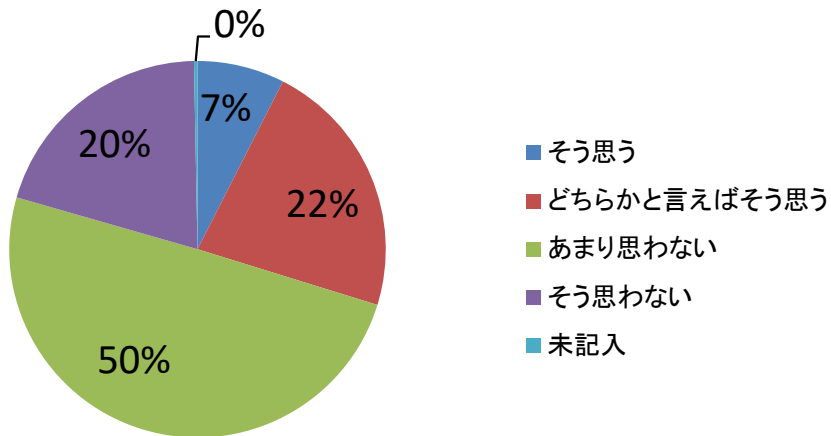
奄美群島回答者男女比

(単位:人、%)

性別	人数	構成比
男性	762	54.4
女性	625	44.6
未回答	14	1.0
計	1,401	100.0

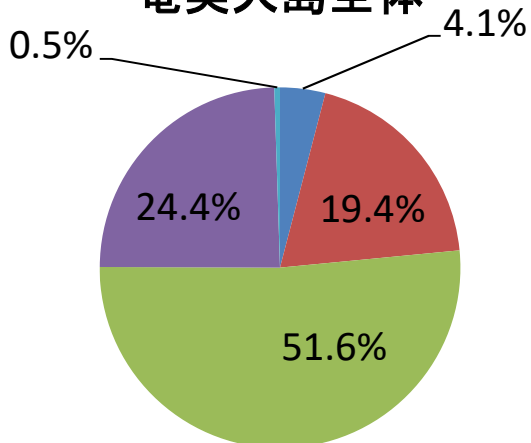
DREAMS COME TRUE 度
Q1 「夢を実現させた人が周りに増えた」

奄美群島全体



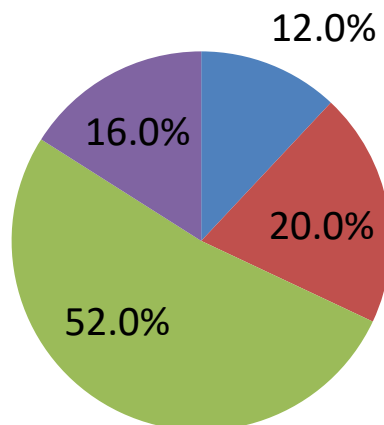
n=1,401

奄美大島全体



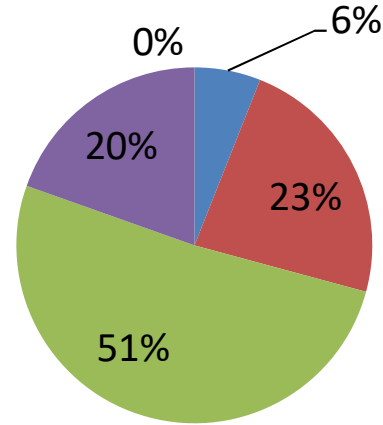
n=814

喜界島全体



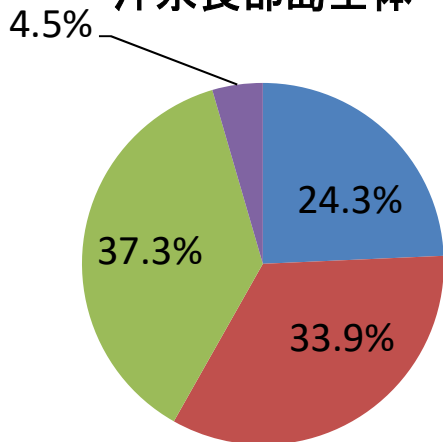
n=75

徳之島全体



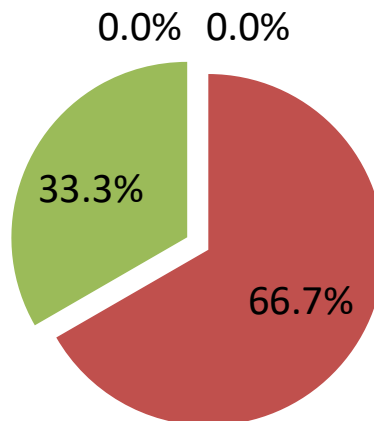
n=332

沖永良部島全体



n=177

与論島全体



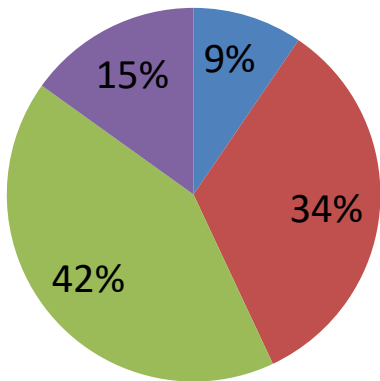
n=3

DREAMS COME TRUE 度 (奄美群島年代別回答)

Q1 「夢を実現させた人が周りに増えた」

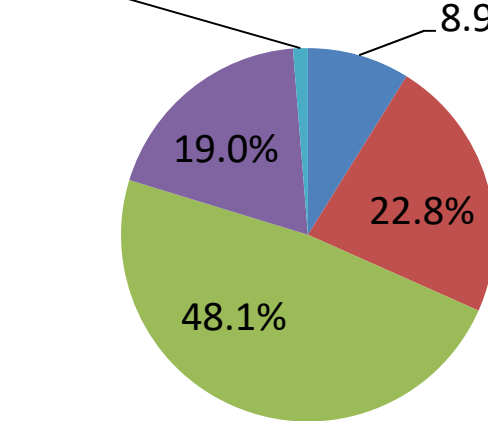
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

群島全体 (10代)



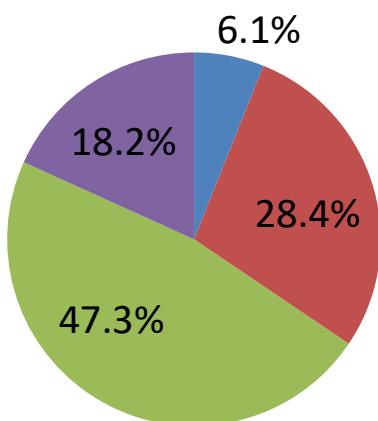
n=179

群島全体 (20代)



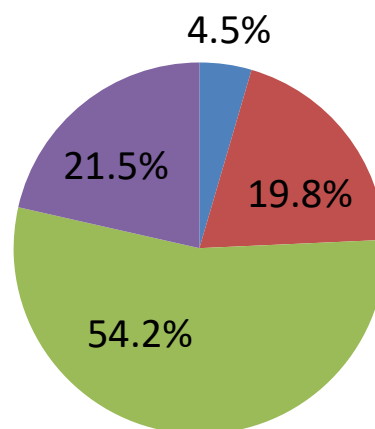
n=78

群島全体 (30代)



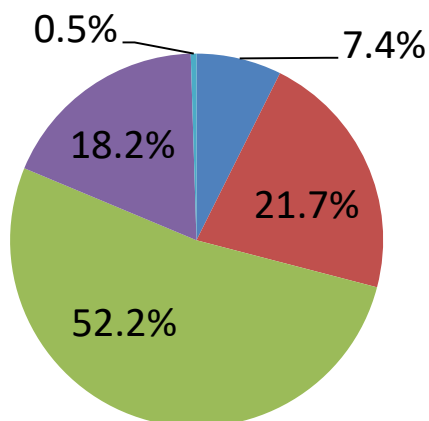
n=148

群島全体 (40代)



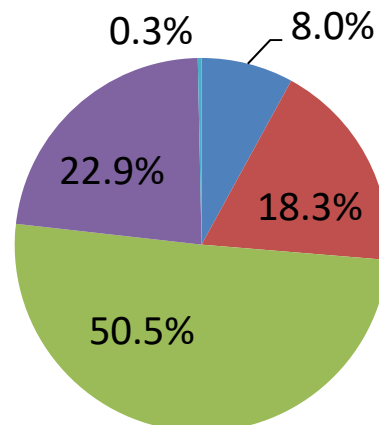
n=177

群島全体 (50代)



n=203

群島全体 (60代以上)

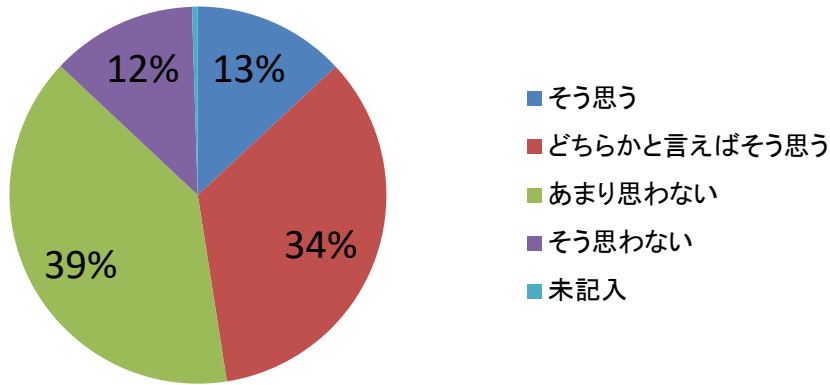


n=616

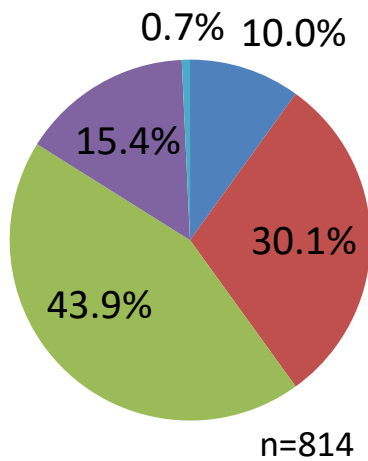
DREAMS COME TRUE 度

Q2 「新しいことにチャレンジしている若者が増えた」

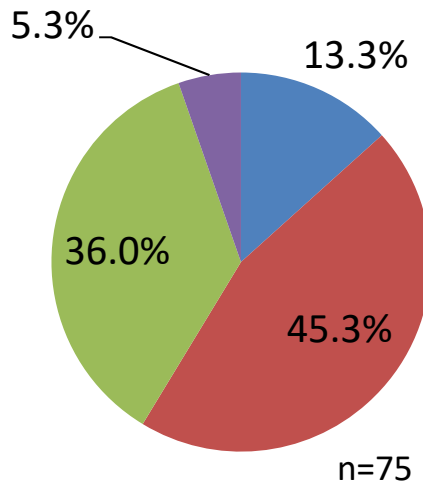
奄美群島全体



奄美大島全体

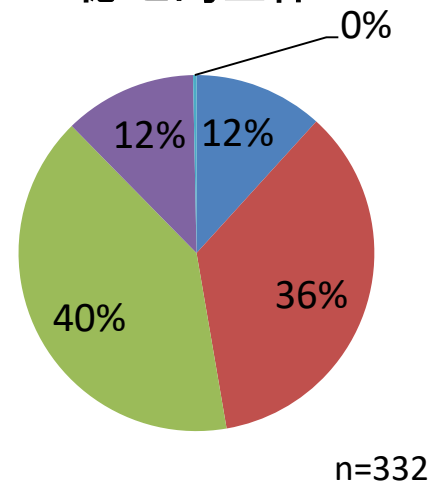


喜界島全体

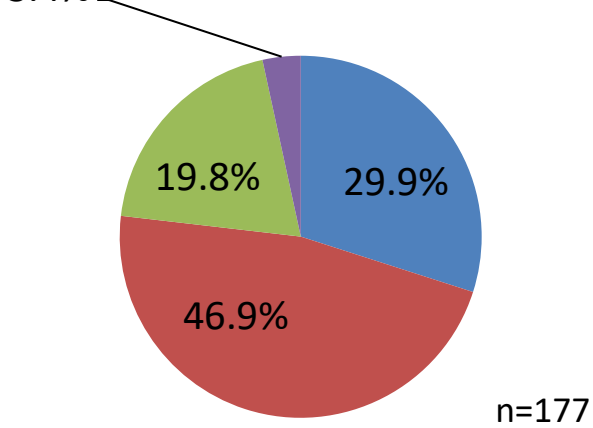


n=1,401

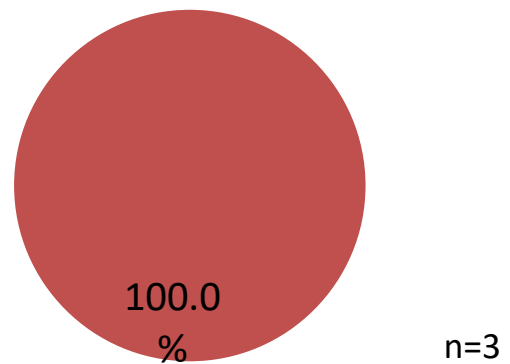
徳之島全体



沖永良部島全体



与論島全体

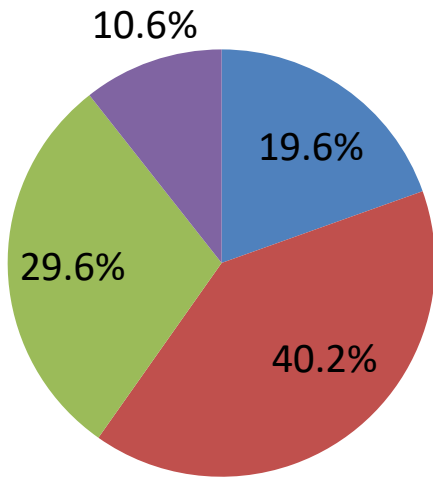


DREAMS COME TRUE 度(奄美群島年代別回答)

Q2 「新しいことにチャレンジしている若者が増えた」

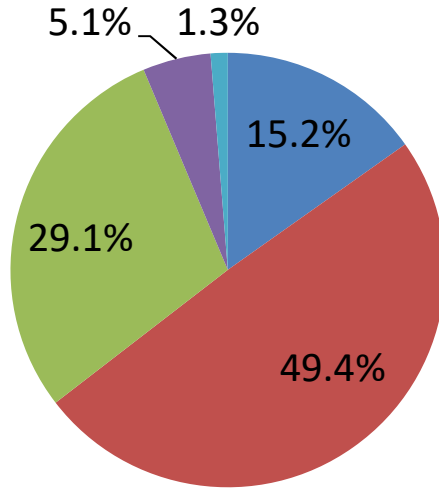
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

群島全体 (10代)



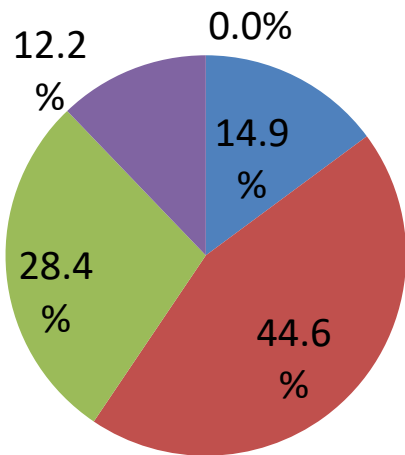
n=179

群島全体 (20代)



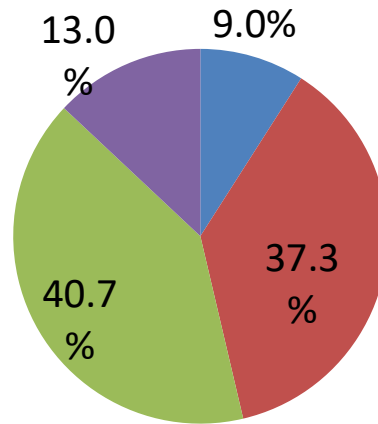
n=78

群島全体 (30代)



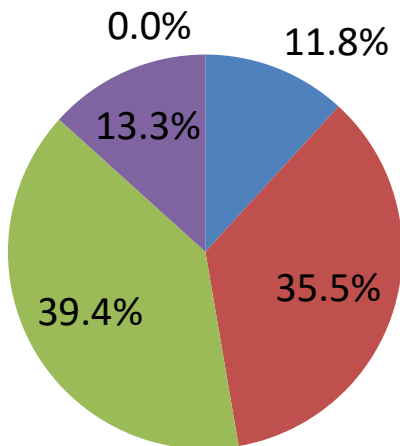
n=148

群島全体 (40代)



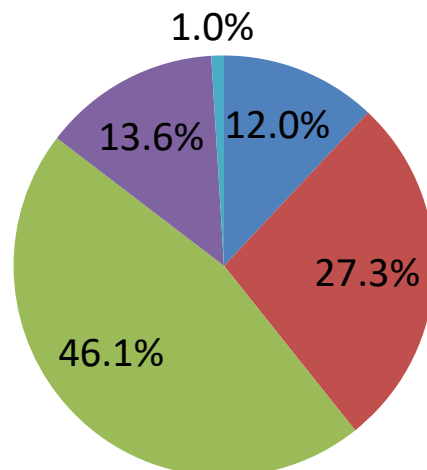
n=177

群島全体 (50代)



n=203

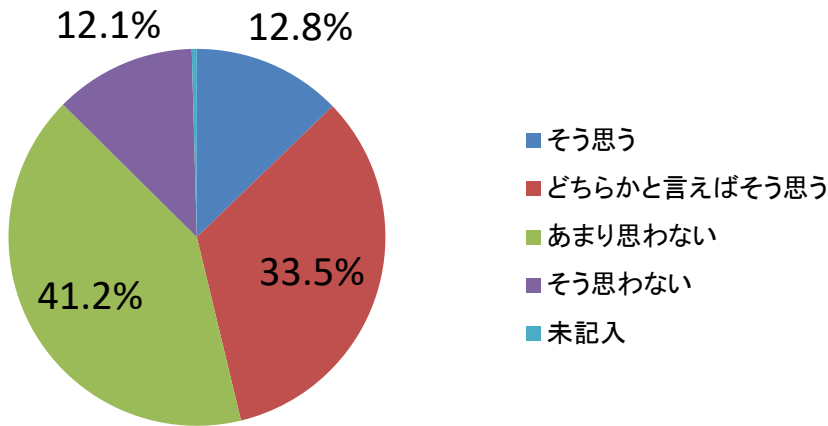
群島全体 (60代以上)



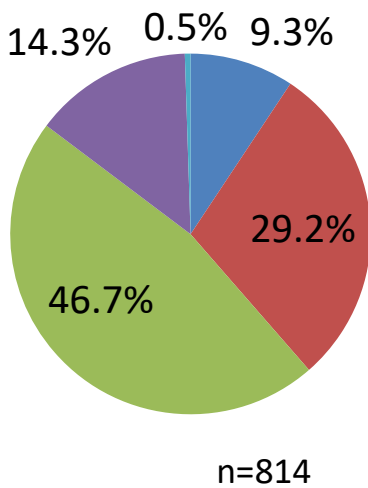
n=616

DREAMS COME TRUE 度
 Q3 「周りの若者が活発になっている。」

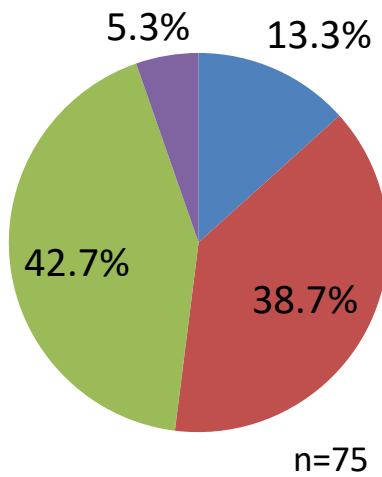
奄美群島全体



奄美大島全体

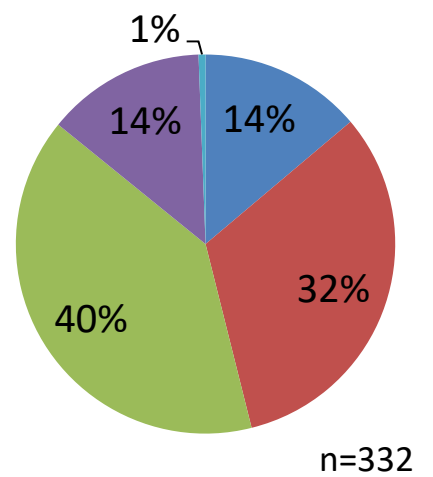


喜界島全体

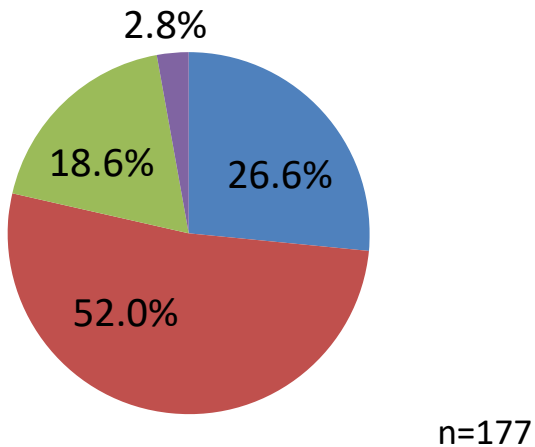


n=1,401

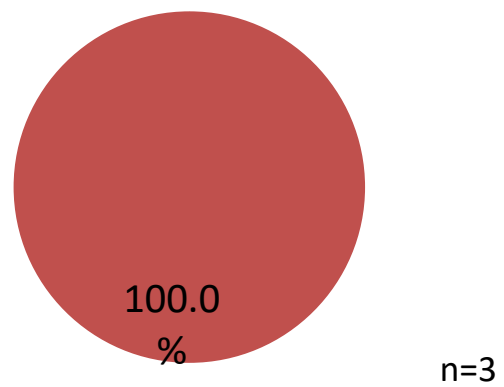
徳之島全体



沖永良部島全体



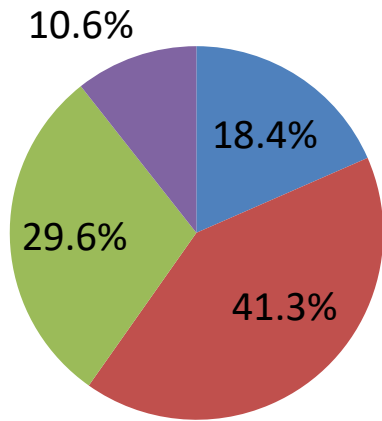
与論島全体



DREAMS COME TRUE 度(奄美群島年代別回答)
 Q3 「周りの若者が活発になっている。」

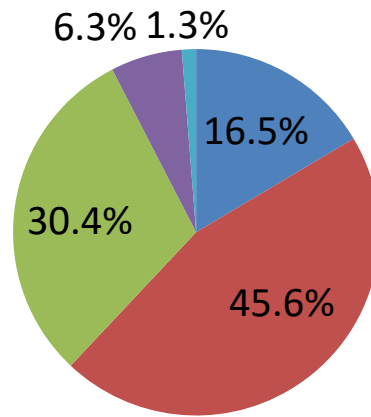
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

群島全体 (10代)



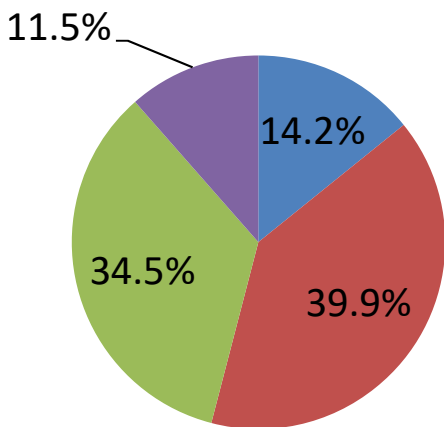
n=179

群島全体 (20代)



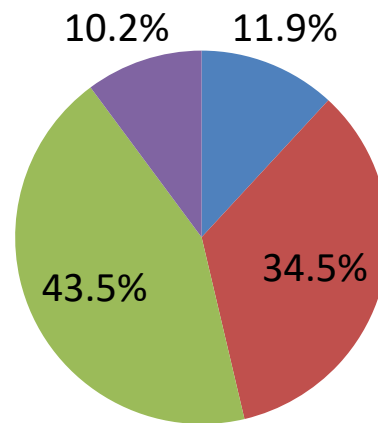
n=78

群島全体 (30代)



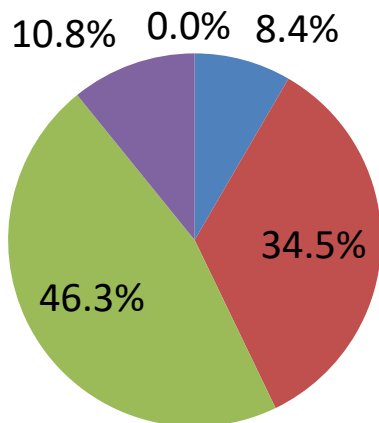
n=148

群島全体 (40代)



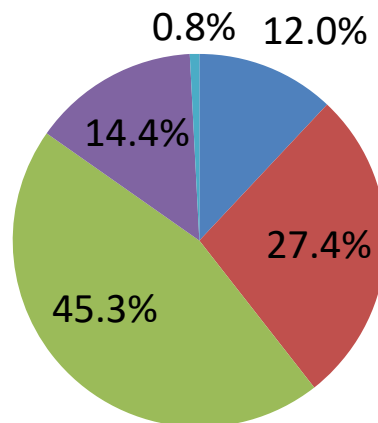
n=177

群島全体 (50代)



n=203

群島全体 (60代以上)



n=616

奄美大島

アンケート項目

○ 結い度

奄美大島の生活風土をつないでいくための指標。

指標は、毎年実施するアンケートによって把握し、統計等では測ることができない精神的な面を捉える指標として位置づける。

回答者属性

奄美大島年代別回答者数

(単位:人、%)

年代	人数	構成比
10代	102	12.5
20代	39	4.8
30代	84	10.3
40代	102	12.5
50代	120	14.7
60代以上	367	45.1
未回答	0	0.0
計	814	100.0

奄美大島回答者男女比

(単位:人、%)

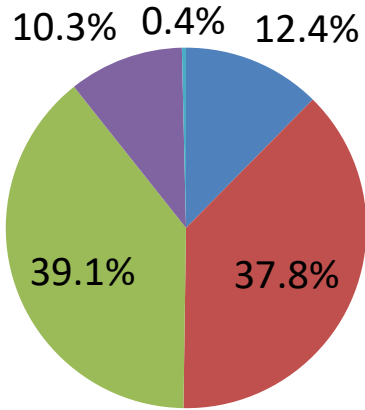
性別	人数	構成比
男性	408	50.1
女性	392	48.2
未回答	14	1.7
計	814	100.0

結い度

Q1 「住民がお互いに助け合う「結いの精神」が高まった。」

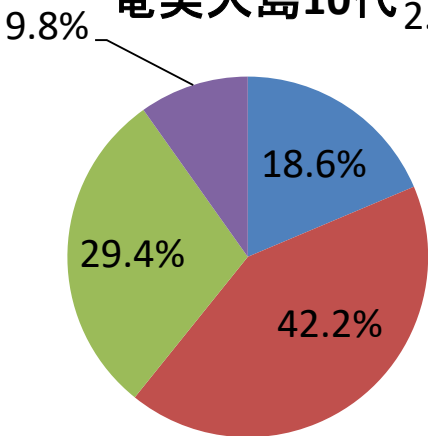
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

奄美大島全体



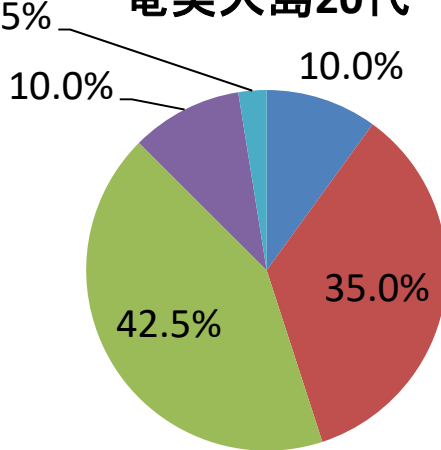
n=814

奄美大島10代



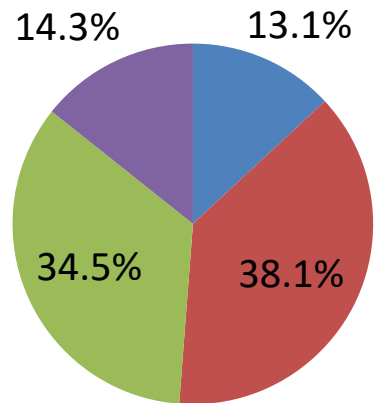
n=102

奄美大島20代



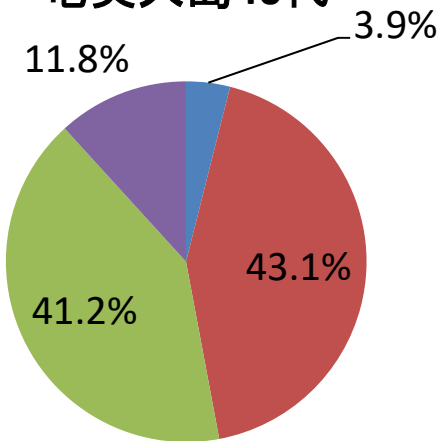
n=39

奄美大島30代



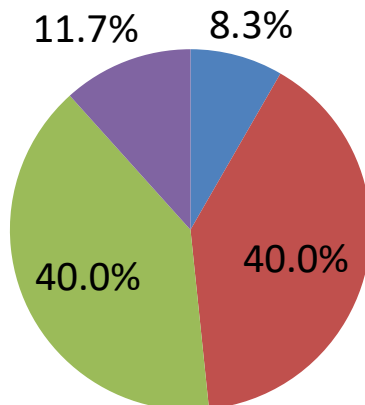
n=84

奄美大島40代



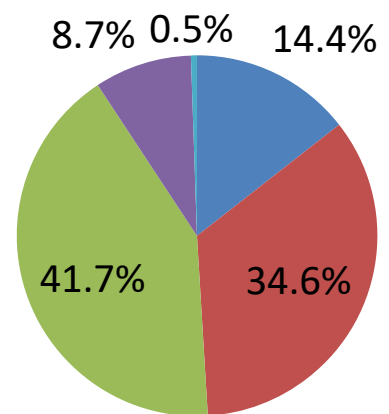
n=102

奄美大島50代



n=120

奄美大島60代以上



n=367

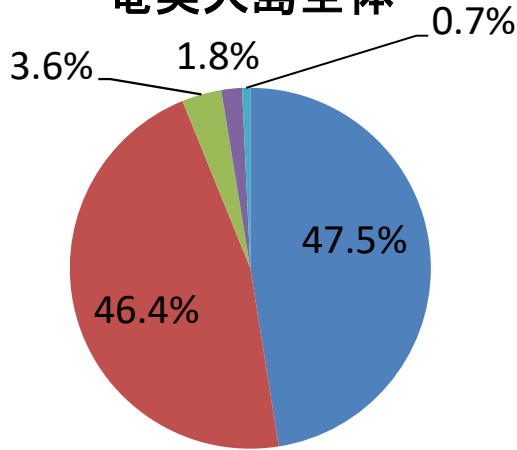
結び度

Q2 「周りに困った人がいる際に、自分ができるところを何かしてあげたいと思う。」

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

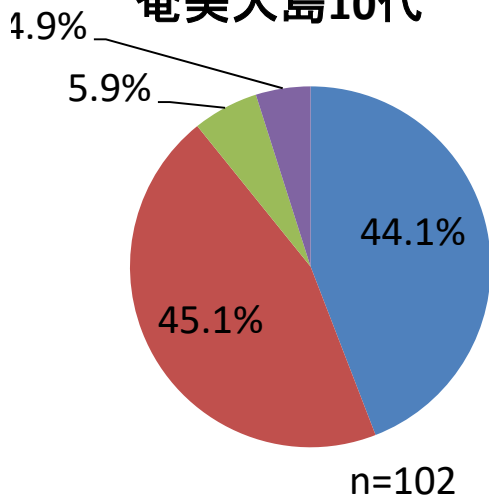
※未記入2件

奄美大島全体



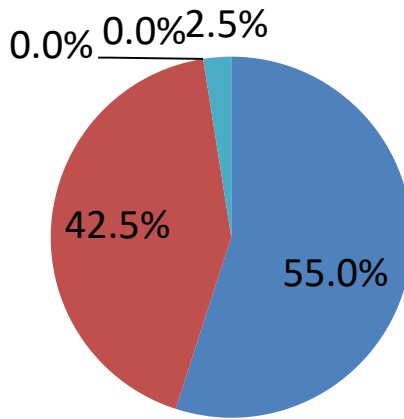
n=814

奄美大島10代



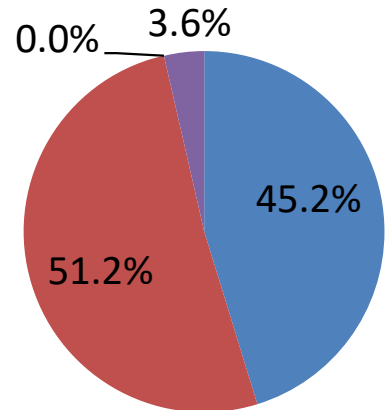
n=102

奄美大島20代



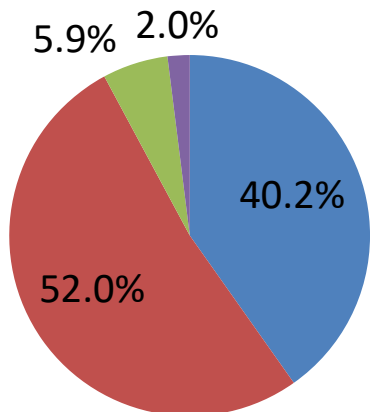
n=39

奄美大島30代



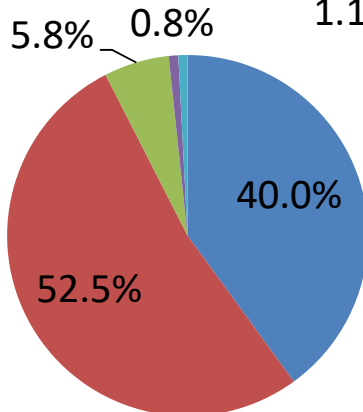
n=84

奄美大島40代



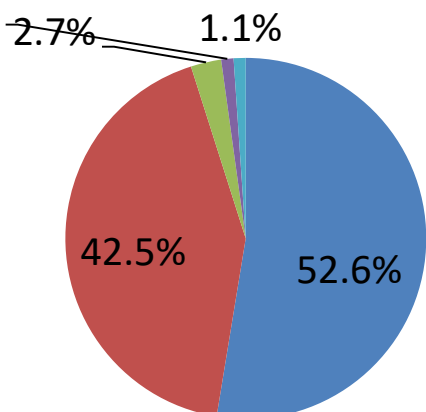
n=102

奄美大島50代



n=120

奄美大島60代以上



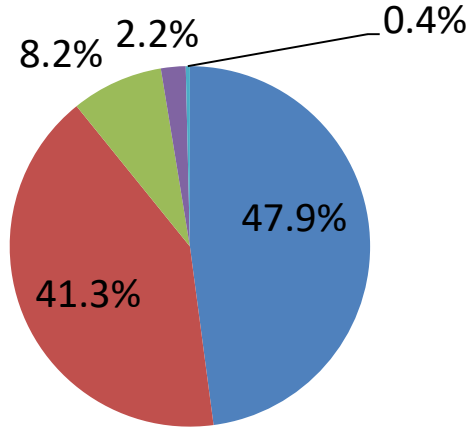
n=367

結い 度

Q3 「これからの若い世代に「結いの精神」を伝えていきたいと思う。」

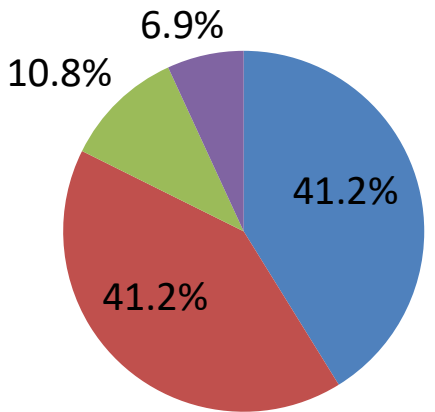
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

奄美大島全体



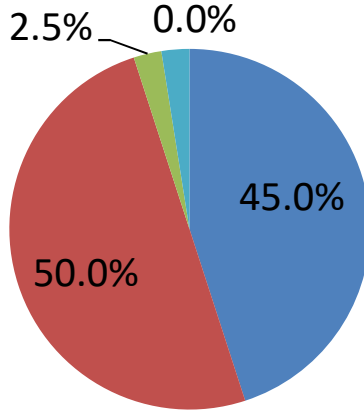
n=814

奄美大島10代



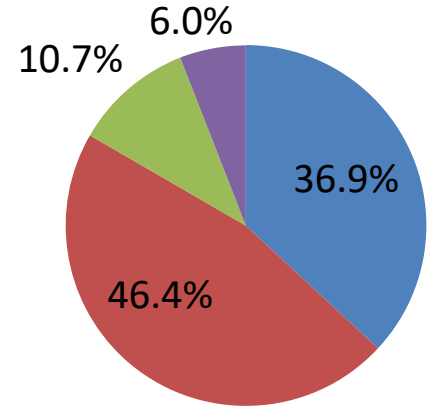
n=102

奄美大島20代



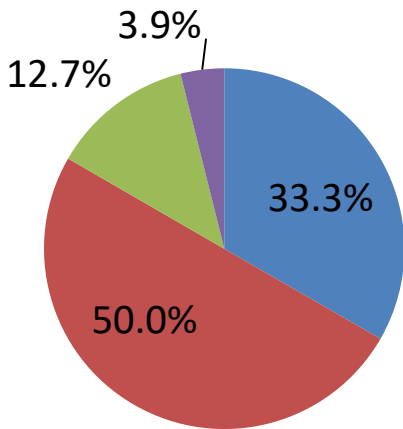
n=39

奄美大島30代



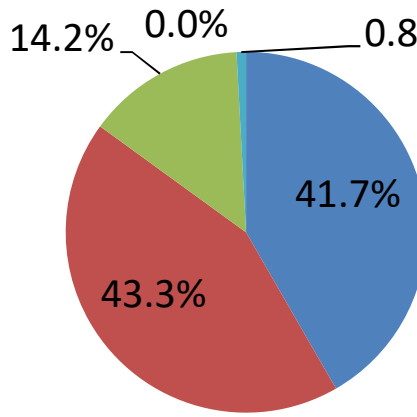
n=84

奄美大島40代



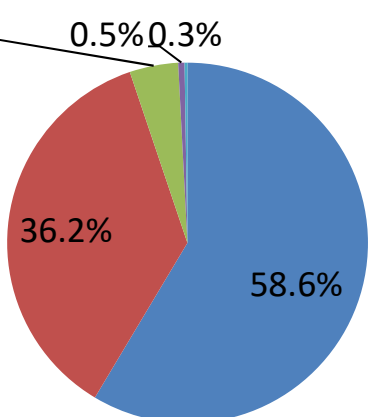
n=102

奄美大島50代



n=120

奄美大島60代以上



n=367

喜界島

アンケート項目

○ 幸福度

魅力ある島(集落)で暮らすことを実現する際の指標。

回答者属性

喜界島年代別回答者数

(単位:人、%)

年代	人数	構成比
10代	11	14.7
20代	5	6.7
30代	9	12.0
40代	9	12.0
50代	8	10.7
60代以上	33	44.0
計	75	100.0

喜界島回答者男女比

(単位:人、%)

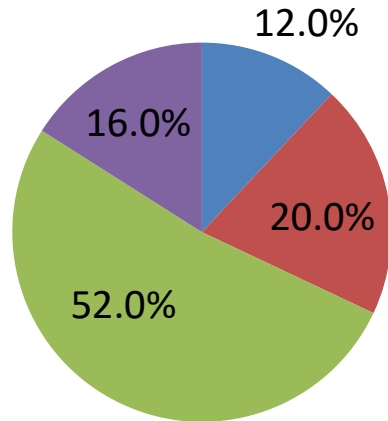
性別	人数	構成比
男性	57	76.0
女性	18	24.0
計	75	100.0

幸福度

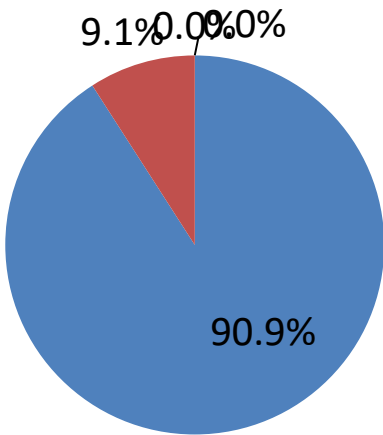
Q1 「自分自身が幸せだと思う。」

喜界島全体

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

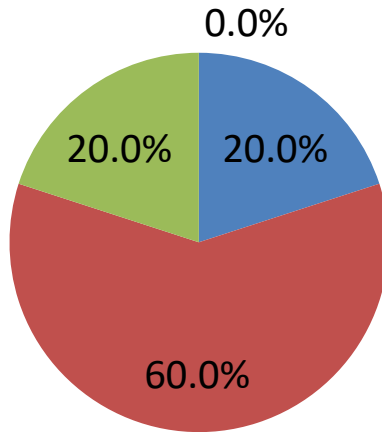


喜界島10代



n=5

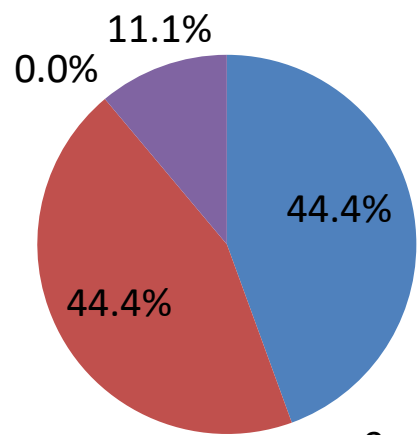
喜界島20代



n=9

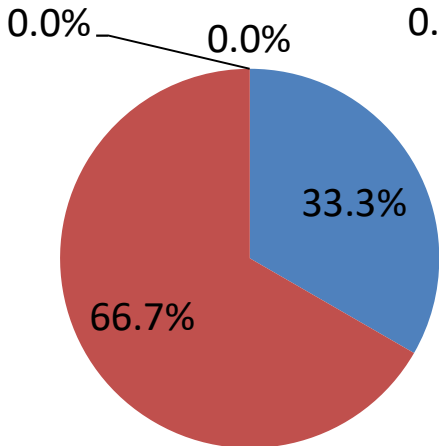
n=11

喜界島30代



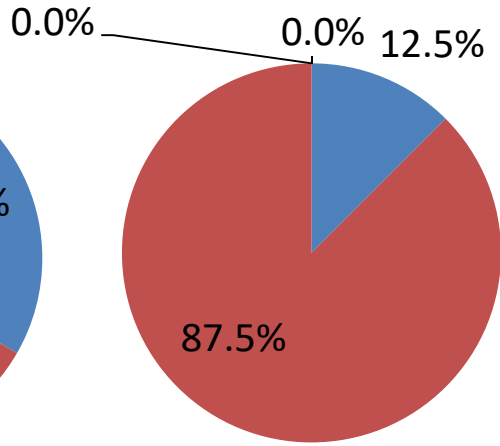
n=9

喜界島40代



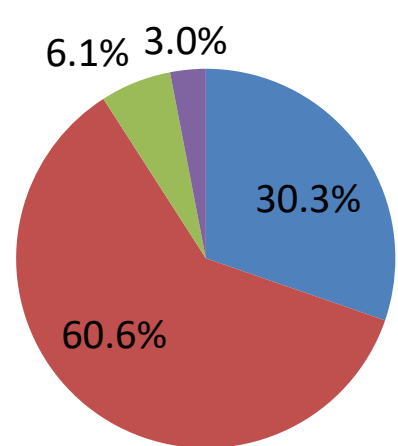
n=9

喜界島50代



n=8

喜界島60代

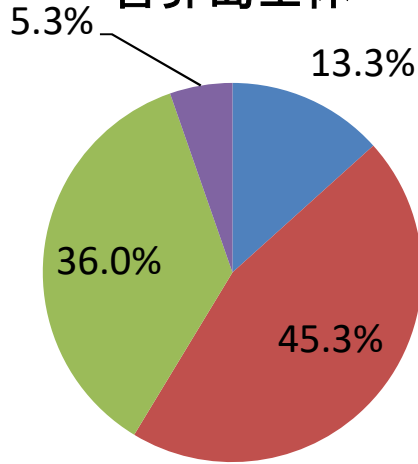


n=33

幸福度

Q2 「今の生活に満足している。」

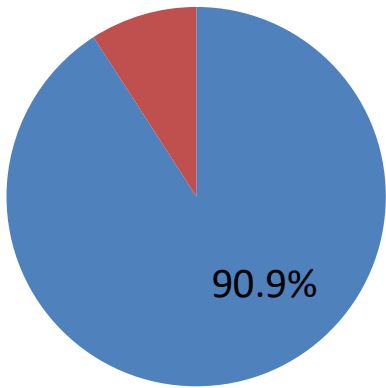
喜界島全体



- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

喜界島10代

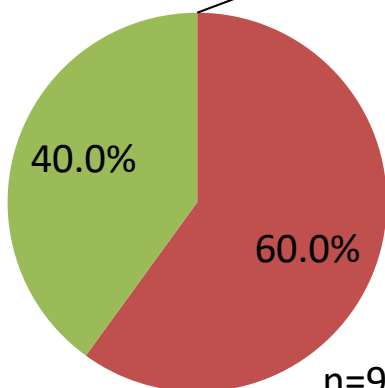
9.1% 0.0% 0.0%



n=5

喜界島20代

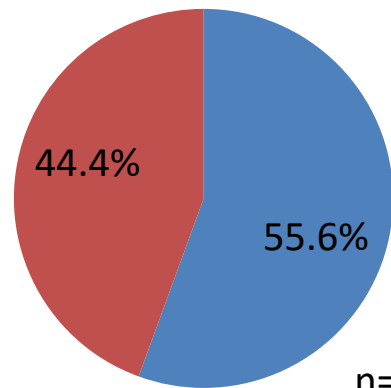
0.0% 0.0%



n=9

喜界島30代

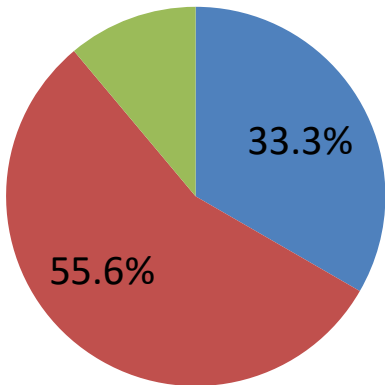
0.0% 0.0%



n=9

喜界島40代

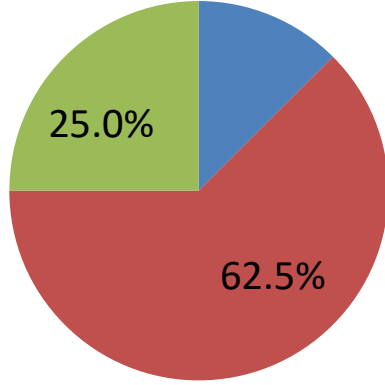
11.1% 0.0%



n=9

喜界島50代

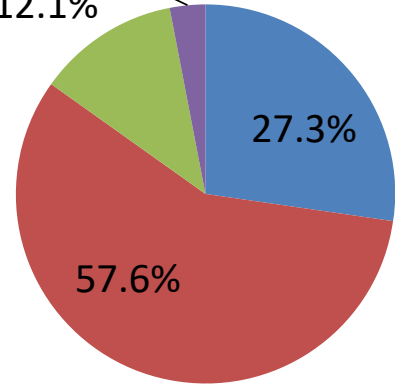
0.0% 12.5%



n=8

喜界島60代

3.0% 12.1%



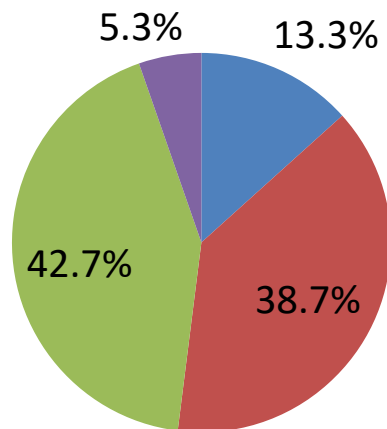
n=33

幸福度

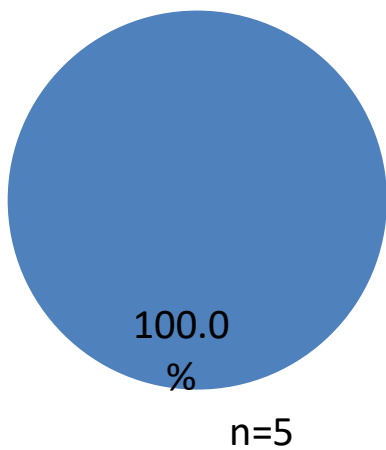
Q3 「島(集落)に暮らすことに幸福を感じる。」

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

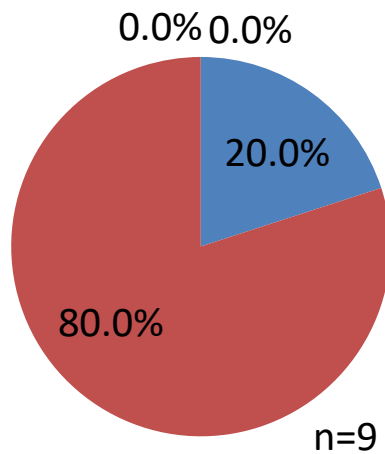
喜界島全体



喜界島10代

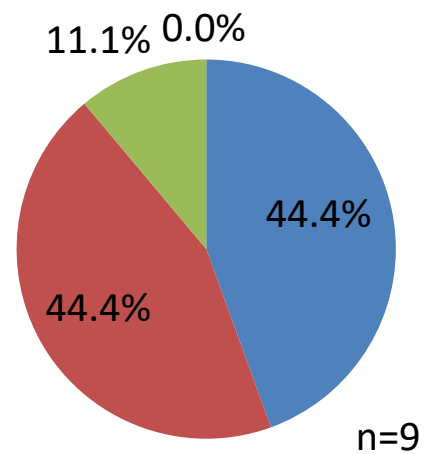


喜界島20代

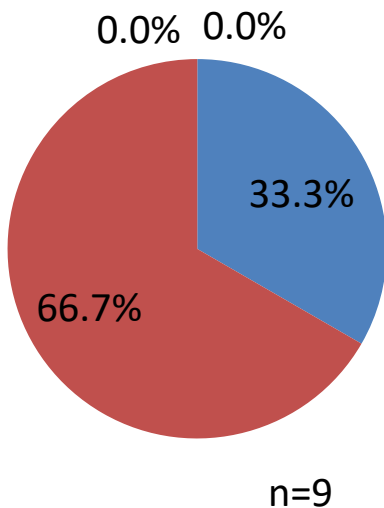


n=11

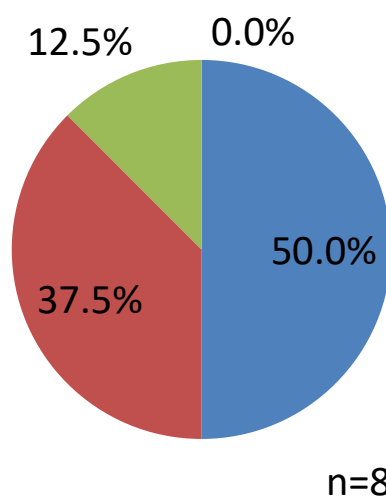
喜界島30代



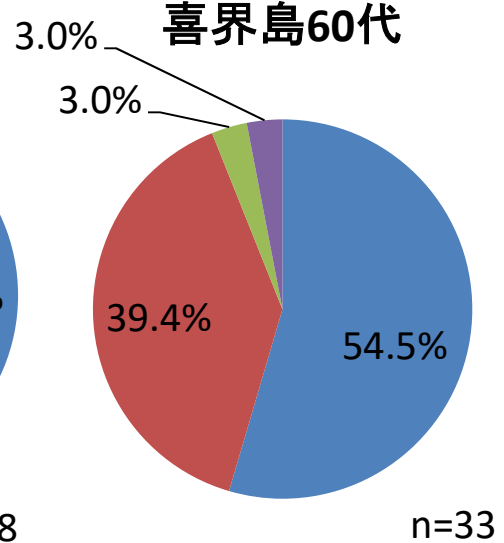
喜界島40代



喜界島50代



喜界島60代



徳之島

アンケート項目

徳之島では独自のアンケート項目を設定していない。

回答者属性(DREAMS COME TRUE度)

徳之島年代別回答者数

(単位:人、%)

年代	人数	構成比
10代	42	12.7
20代	27	8.1
30代	36	10.8
40代	40	12.0
50代	46	13.9
60代以上	141	42.5
計	332	100.0

徳之島回答者男女比

(単位:人、%)

性別	人数	構成比
男性	180	54.2
女性	152	45.8
計	332	100.0

沖永良部島

アンケート項目

○ 島の魅力

沖永良部島を愛する人達を示す指標。

○ 新商品数

沖永良部島で地域資源を活用した特産品開発を示す指標。

※なお、上記2つのアンケート項目について、実施計画ではそれぞれ設問を3つ設定しているが、今回のアンケートでは住民向けアンケート項目の2つのみを調査した。

回答者属性

沖永良部島年代別回答者数

(単位:人、%)

年代	人数	構成比
10代	24	13.6
20代	7	4.0
30代	18	10.2
40代	25	14.1
50代	28	15.8
60代以上	75	42.4
計	177	100.0

沖永良部島回答者男女比

(単位:人、%)

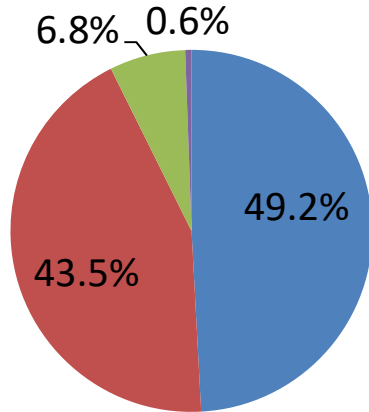
性別	人数	構成比
男性	114	64.4
女性	63	35.6
計	177	100.0

島の魅力

Q1 「この島がとても魅力的な島だと思う。」

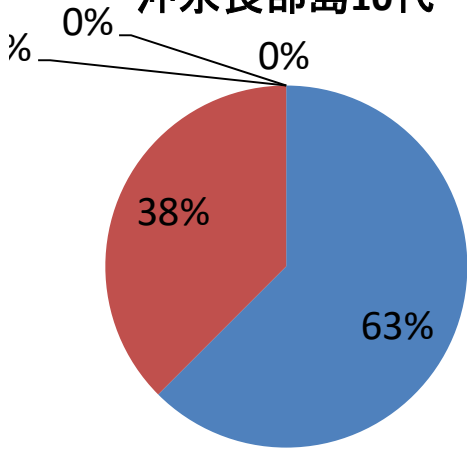
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

沖永良部島全体



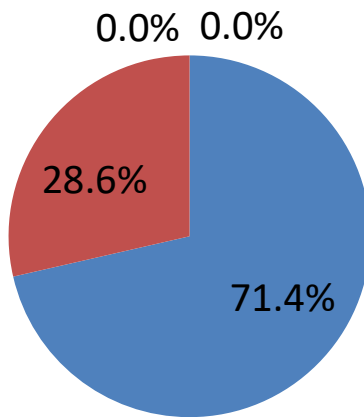
n=177

沖永良部島10代



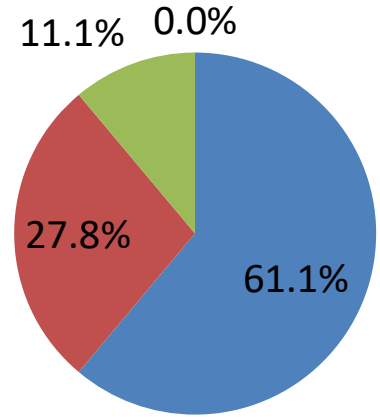
n=24

沖永良部島20代



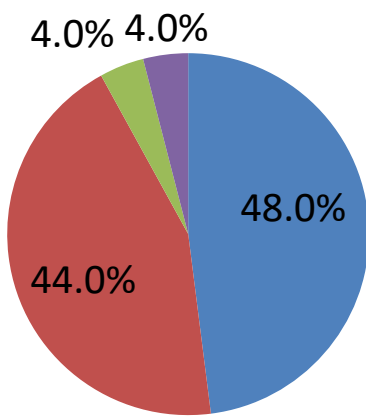
n=7

沖永良部島30代



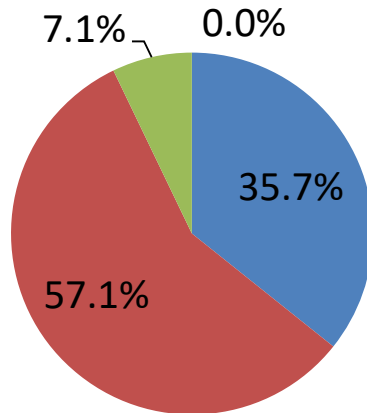
n=18

沖永良部島40代



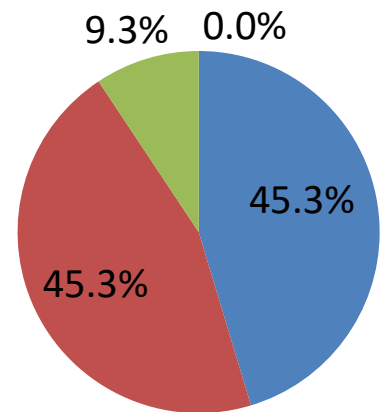
n=25

沖永良部島50代



n=28

沖永良部島60代



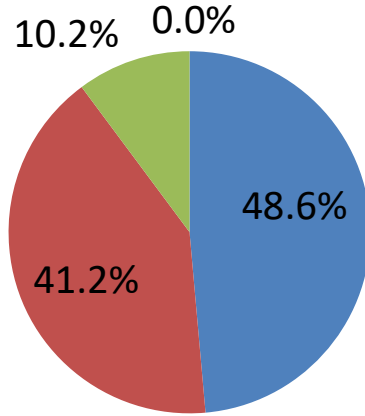
n=75

島の魅力

Q2 「この島のことを、島外の人達に対しても
自慢できる島だと思う。」

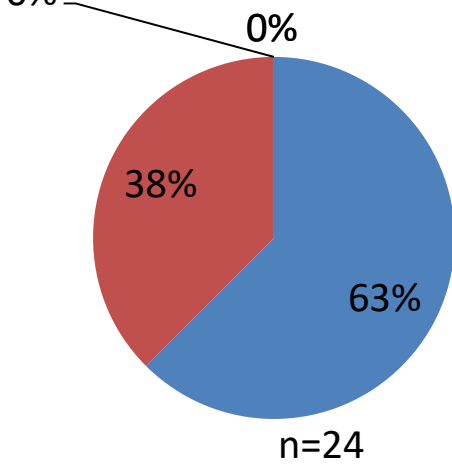
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

沖永良部島全体



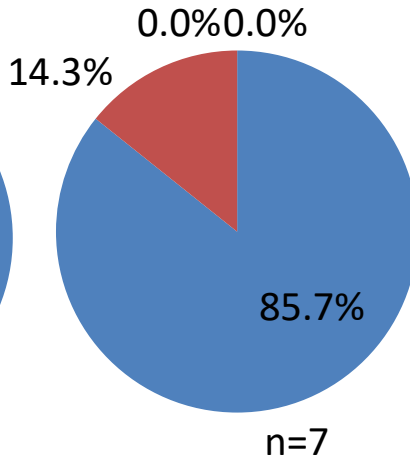
n=177

沖永良部島10代



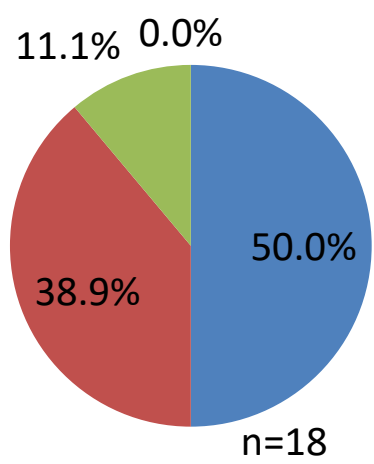
n=24

沖永良部島20代



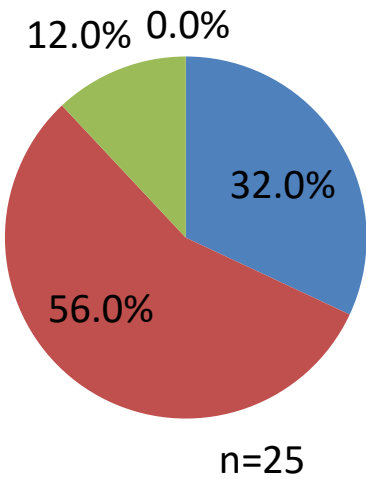
n=7

沖永良部島30代



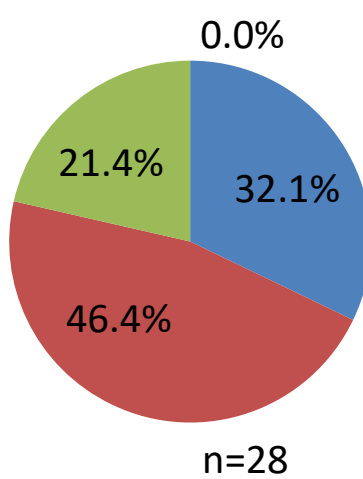
n=18

沖永良部島40代



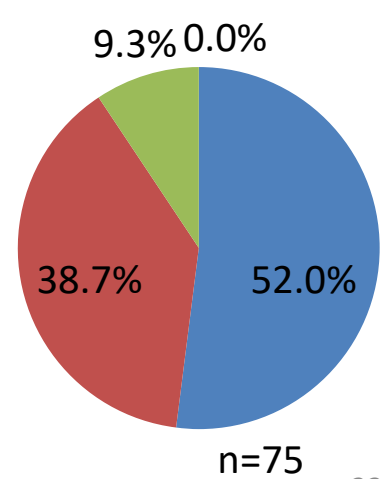
n=25

沖永良部島50代



n=28

沖永良部島60代



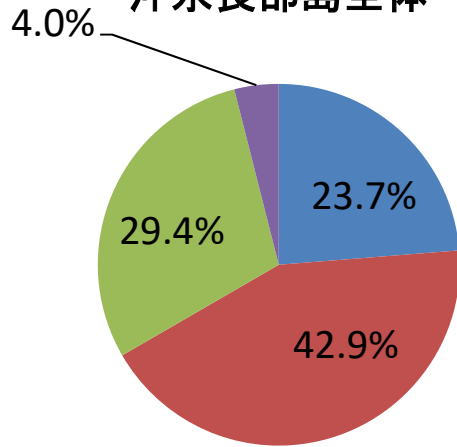
n=75

新商品数

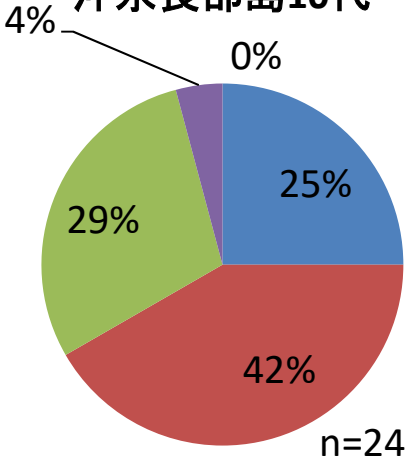
Q1 「島の特産品について、新しい商品が増えたと思う。」

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

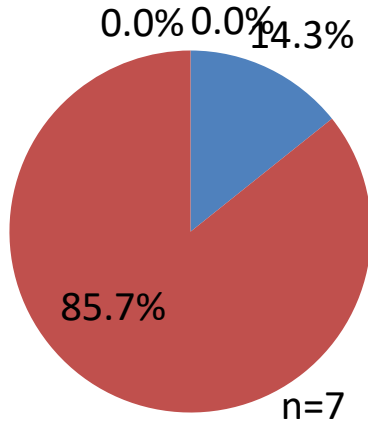
沖永良部島全体



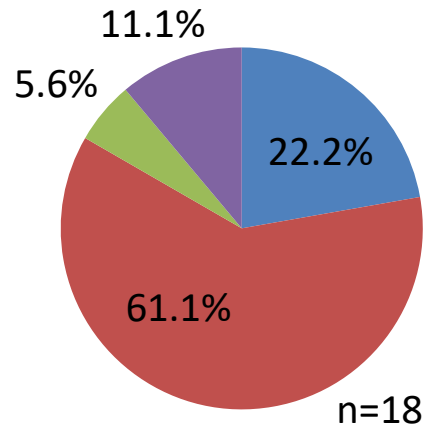
沖永良部島10代



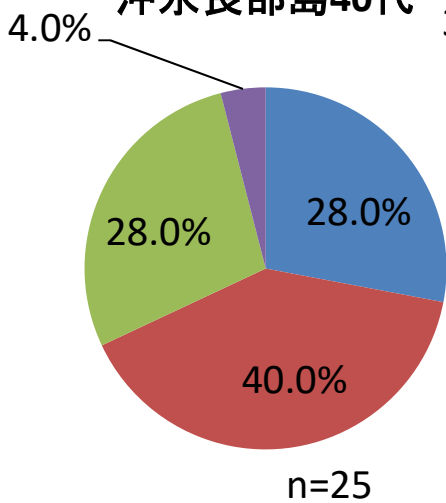
沖永良部島20代



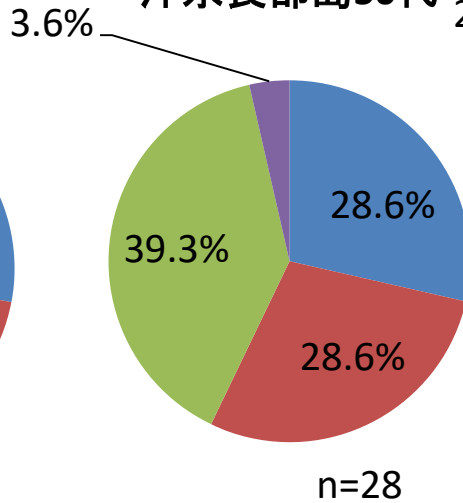
沖永良部島30代



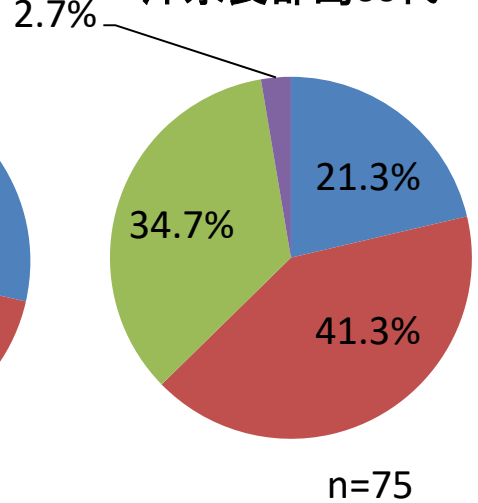
沖永良部島40代



沖永良部島50代



沖永良部島60代

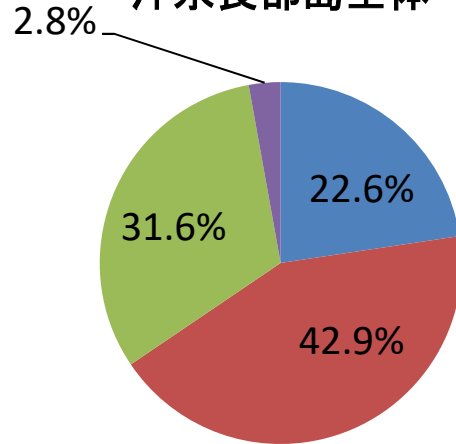


新商品数

Q2 「島の特産品について、魅力的なものが
増えたと思う。」

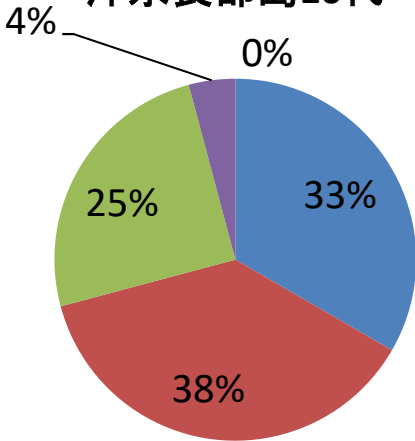
- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- あまり思わない
- そう思わない
- 未記入

沖永良部島全体



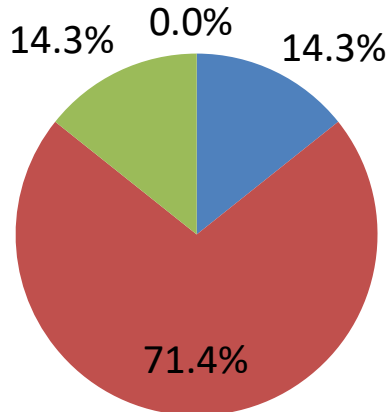
n=177

沖永良部島10代



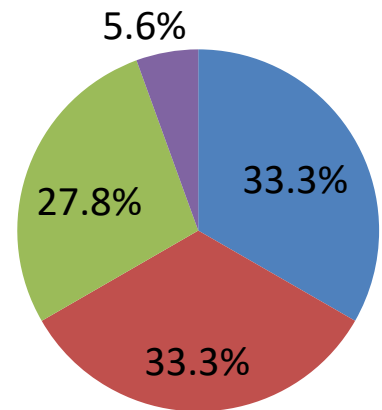
n=24

沖永良部島20代



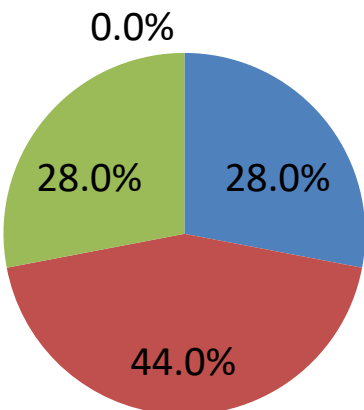
n=7

沖永良部島30代



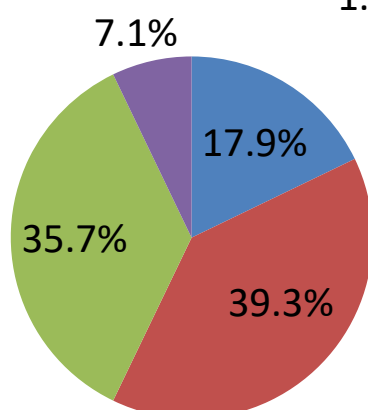
n=18

沖永良部島40代



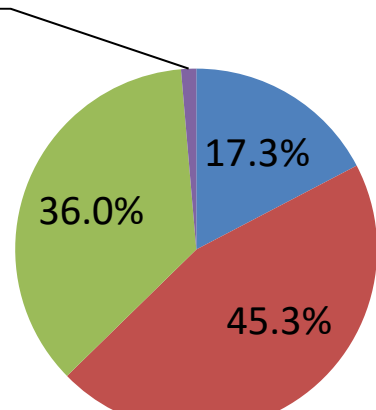
n=25

沖永良部島50代



n=28

沖永良部島60代



n=75

与論島

アンケート項目

- 伝統文化の継承者数
生活風土をつないでいくための指標。
- 豊かな自然の継承
魅力ある島で暮らすことを実現する際の指標。
- 安全・安心で豊かな生活環境
安心した生活を送ることができる指標。
- 教育環境
若者が希望を持って暮らすことができる指標。
- 正しい情報発信とICT技術のある生活環境
産業の担い手が確保され、次世代につないでいくための指標。

回答者属性

与論島年代別回答者数

(単位:人、%)

年代	人数	構成比
10代	0	0.0
20代	0	0.0
30代	1	33.3
40代	1	33.3
50代	1	33.3
60代以上	0	0.0
計	3	100.0

与論島回答者男女比

(単位:人、%)

性別	人数	構成比
男性	3	100.0
女性	0	0.0
計	3	100.0

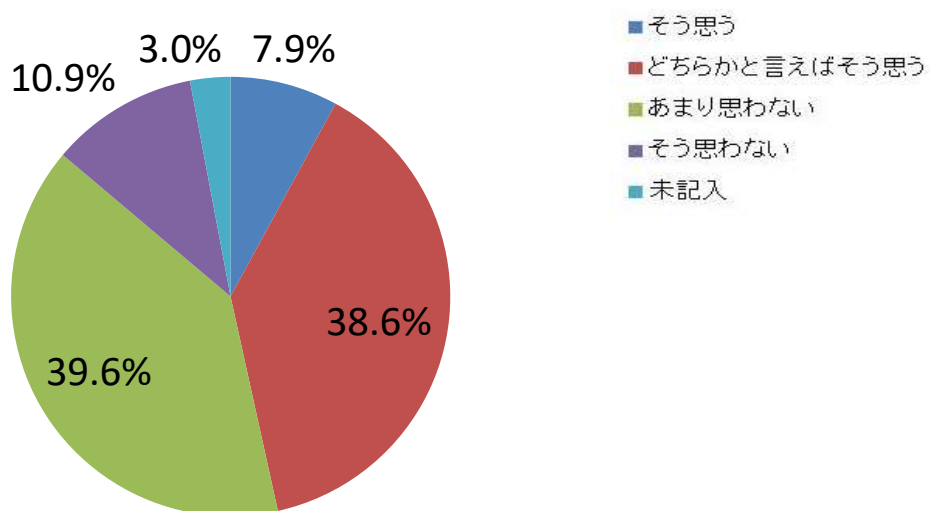
※ 回答者は観光従事者の3名だけなので円グラフは作成していない。

農業分野の個別質問

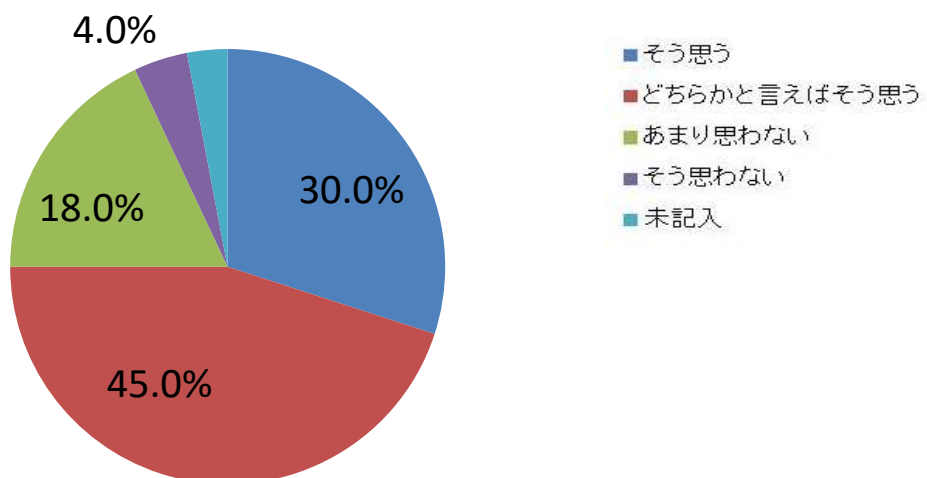
Q1 「主要農産物(サトウキビ・ばれいしょ・花き・肉用牛等)は何ですか？」

- 1.サトウキビ33件 2.ばれいしょ19件 3.花き17件 4.肉用牛12件 5.果樹6件
- 5.パッション、マンゴー、カボチャ 各3件 6.すもも ゴマ 各2件
- 7.キャベツ、島バナナ、枝豆、バジル、はるみ、ぽんかん、にんにく、落花生、ハーブ類、アザミ 各1件

Q2 「5年前と比較して、島の農業は活性化していると感じますか？」



Q3 「あなたは農業分野において新しいことにチャレンジしたいと思いませんか？」



農業分野の個別質問

Q4 「チャレンジしたいことについて、具体的にお聞かせください。(複数回答可)」

- ・品質向上 19件
- ・販路拡大 18件
- ・新しい農産物への挑戦 17件
- ・設備投資 15件
- ・後継者育成 15件
- ・六次産業化 14件
- ・農業法人の設立 13件
- ・ICT導入 7件
- ・その他
 - ・年齢的に無理
 - ・サトウキビの他の農業
 - ・菌堆肥へのチャレンジ

Q5 「新しいことにチャレンジするうえで、課題と感じていることをお聞かせください。」

- ・小さい子供がいるので、あまり大きく動けないので、できる範囲でやれること、チャレンジできることを探して、自分の未来につなげていく事が課題です。フットワークが軽くなるまでどのように現状を進めていくかを考えています。
- ・情報、知識、技術力の向上。資金面の確保などです。
- ・私達、70才をすぎると話を聞いてくれる人がいない。島の若い人は農業以外の仕事(現金収入)の方に力が入り島の伝統的な是非残したい島のよさをもっと六次産業化で頑張るって伝統を残したい。
- ・パッションを作ってみたい
- ・販路がせまい(少ない量の時)
- ・行政側のスピードのにぶさ
- ・農政に於ける支援事業の周知徹底
- ・高齢者が増え、若い人が少ない
- ・新しい農産物へ挑戦したいのですが、指導者がいなくてなかなか一歩前へ進めない。・輸送費の助成が必要(どんな野菜にも)
- ・営農指導者がいない

- ・農業の所得額
- ・資金調達
- ・地域には、それぞれ自然環境があり、その中でのチャレンジであります。頭をつかいます。しいていえば、小規模な地域でも事業ができる土地基盤整備と考えます。
- ・若者が少なく、高齢者が増え担い手がいない
- ・後継者育成に力を入れ進路拡大を進めるように。
- ・奄美人の事なかれ意識(殊・大島本島) 常に受け身の姿勢
- ・勉強会がしたい
- ・設備投資と販路拡大。
- ・後継者育成
- ・若手の農業団体は作ったのですが、若手農家をステップアップさせるためのサポートが少ないです。
- ・新しい事項にチャレンジしたいときの専用相談窓口を明確にしてほしい。
- ・若手農家との情報交換会を開催してほしい。
- ・資金確保
- ・資金 ・機材導入 ・農地不足
- 労働力の向上 技術的な向上
- 菌堆肥が高価、安定的に入荷しない
- ・先輩農家の固定観念を和らいでもらうこと
- ・若手農家の会合等への参加
- ・人が居ない
- ・機械化、楽する農業
- ・島の農産物の自給率が低い為に、農産物有効利用、六時産業化をして複合経営し畑の有効利用し、沖永良部の特産品をふやし、農家所得向上し、生活安定若者の沖永良部定着、人口増に繋がると思います。
- ・販路
- ・補助事業拡大をしてほしい
- ・コロナの影響で、どの作物を作ればいいかなやむ。
- ・輸送の時間、航路の短縮(沖縄経由での輸送はできないのか?)
- ・資金、仲間、マンパワー

・高齢化、若者の農業離れ、近年、スマート農業に力を入れているように思えます。どうしても資金が必要になります。自治体からの助成制度があれば非常に助かると思います。

・無農薬、資金

・知識

・気候

・鳥獣対策(イノシシ、カラス、クロウサギ)

・集落の中で若い人が農業に携わってくれたら出来る(NPOなどが)

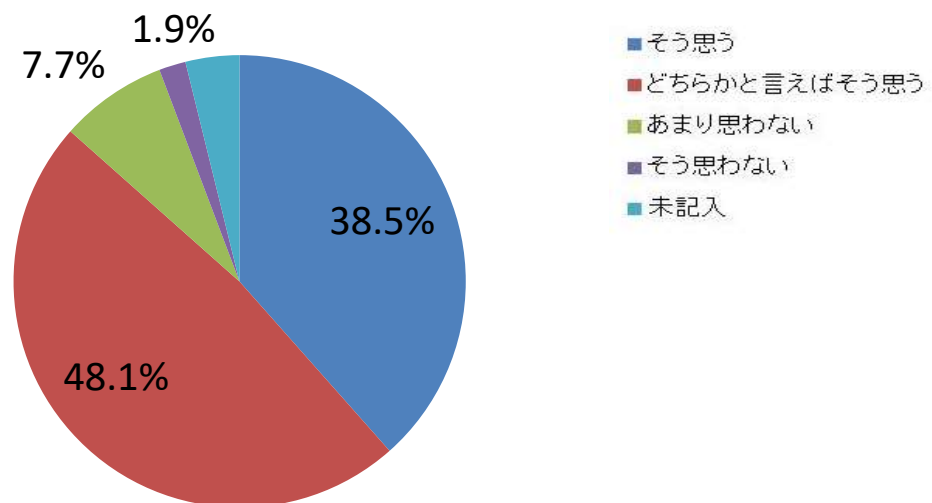
・資金が少ないので、なかなか現実にはむずかしい。

観光分野の個別質問

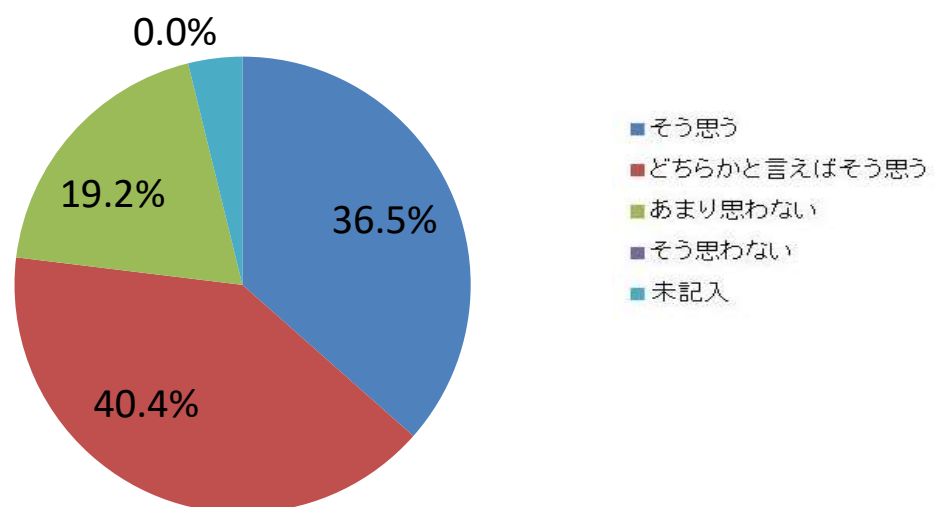
Q1 「あなたの業種は何ですか？」

・宿泊業 ・業界団体事務局 ・スーパー ・タクシー ・旅行業他 ・職人 ・おみやげ店 ・衣類販売 ・ゴルフ場 ・ハブ専門店 生態の展示、ショーの公演、製造、販売 ・菓子製造販売 ・レンタカー業 ・自営、大島紬の販売 ・観光業 ・公務員(企画係) ・飲食業 ・製造業 ・団体職員 ・小売業 ・観光連盟 ・空港(不動産業)観光に関する業務 ・地域歴史博物館 ・旅行・ガイド業 ・物産業お土産店ツアーガイド交通関係 ・地域おこし協力隊 ・飲食店 ・会社経営

Q2 「5年前と比較して、島の観光産業は活性化していると感じますか？」



Q3 「あなたは観光分野において新しいことにチャレンジしたいと思えますか？」



観光分野の個別質問

Q4 「あなたがチャレンジしたい内容について具体的にお聞かせください。」

- ・スキルアップ ・設備投資 ・商品開発 ・人材育成
- ・新土産品製作 ・受入態勢の専門的特化
- ・観光客への島割(プレゼント)、島ジュース(たんかん、すもも、シソ)自販機。他にもいろいろある
- ・新規事業の展開、雨天時の観光客利用施設の整備(島外客を中心に対象)
- ・事業拡大 観光客向け飲食、宿泊をしたい
- ・やはり体験をさせて足を止めさせる
- ・奄美に生息するハブやその他の蛇の生態について、またハブが生息している島での暮らし方を伝えられるような、商品制作、サービ制作に努めていきたいと思っております。
- ・もっと勉強、現場を見る。
- ・特産品開発、デザイン
- ・沖縄向けの観光PR、物産PR
- ・事業拡大(島内・県外を含め)
- ・インバウンド対応のために語学力の向上、世界自然遺産に登録されれば事業拡大
- ・島内における観光産業(特に体験プログラム)の体制整備、観光連盟の機能の明確化、新しい雇用創出
- ・観光資源の調査
- ・島の日常を兼ねた宿泊業
- ・島内における事業拡大、徳之島の情報発信(主に島外)
- ・ガイドのスキルアップ、島内におけるガイド業の確立、島内ツアー参加者の獲得、ツアーガイドの仲間集め(人材確保)、インバウンド対応
- ・個人のスキルアップ(接客対応など)
- ・お客様への対応など、接客に関わるスキル徹底して良い対応ができるようになりたい。
- ・徳之島らしい新たな観光コンテンツの充実
- ・地域貢献事業の拡大。地域の方々がもちスキルをお金に変える地域会社を目指す。

Q5 「新しいことにチャレンジするうえで、課題と感じていることをお聞かせください。」

・持続可能な開発目標を設定(KPI)し、PDCAサイクルで活動できることを想定して、チャレンジさせてほしい。一過性で終了しないように指導し続けてください。

・需用と供給のバランス需要増が不可欠

・行政の協力

・新型コロナの終息後にチャレンジ等については考えられない

・マーケティングリサーチ、企画力・提案力、同業他社との差別化、お客様目線での社員教育、資金調達等の経営計画、スタッフに夢を持たせる。地域との共存共栄。

・コロナですねー。

・観光客が大島全体を周遊できるようなアピールをしたい。奄美大島全体がうるおうように、行政が広告ピーアールの応援が必用だと思います。

・時間がない

・製品の品質表示等、タグ付け、商品のデザインをどうするか

・今はコロナの影響で経営も不安定で、チャレンジする上での資金も大変厳しい状態。現状に合わせて創意工夫し、安全でお客様が楽しめる店作りを意識する必要性を感じております。

・研修等の機会が少ないこと

・建築設計の見直し

・今はコロナ等で、現状維持が精一杯。

・資金

・人材、マネージメント、教育

・センス!!

・予算

・新型コロナウイルスの影響で先行き不安と自然遺産にいつなるのか。自然遺産に登録

・徳之島は三町あり、観光業については町を飛び越えて足並みそろえる必要があると思うが、なかなか上手くいかない点があると日頃感じている。マンパワーの確保等に苦労する場合もある。

・資金不足 ・人材不足

・徳之島が一体となって、同じ方向を向くよう足並みをそろえる事(徳之島町、伊仙町、天城町)

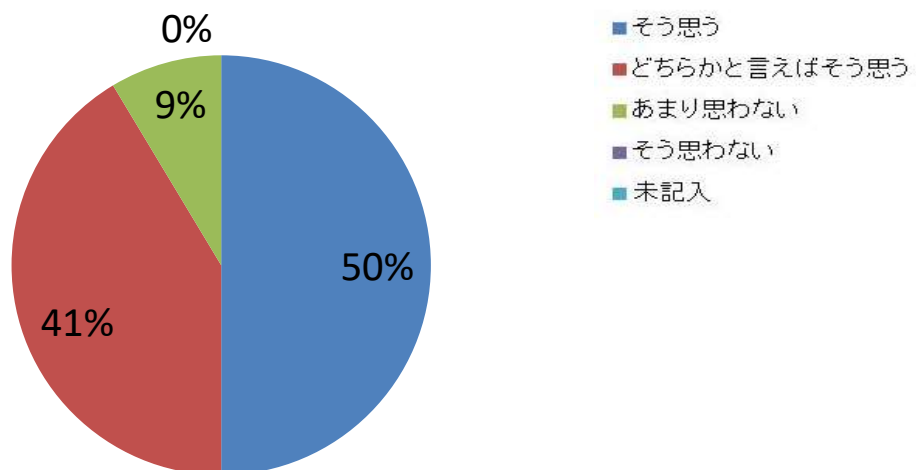
- ・金銭面を除けば特にありません。事業は様々な制限があるので、なるべく自分自身で自由に夢にチャレンジしていきたい。
- ・効率的な情報発信の方法がイマイチわからない。
- ・観光地の公共施設(トイレ等)が整備されていない所がある、とお客様からのご指摘等があり、持続していく取り組み強化は必要ではないか。
- ・人手不足、後継者不足など
- ・まずは、ツアーガイドを職業として成り立たせるための取り組みが必要なのではないかと思っています。
- ・スキルアップできる機会や場所が少ない。方法がわからない。
- ・時間をつくることができない。
- ・これまで観光分野に関わりの薄かった島民の方が多い為、まずは地域の方々との合意形成を得、一步一步共に歩んで行く為の素地を築く事が重要だと感じています。小さな島であるが故に仲間集めが課題になっている現状です。
- ・資金不足 人材不足 輸送コスト
- ・空港周辺のタクシー不足

情報分野の個別質問

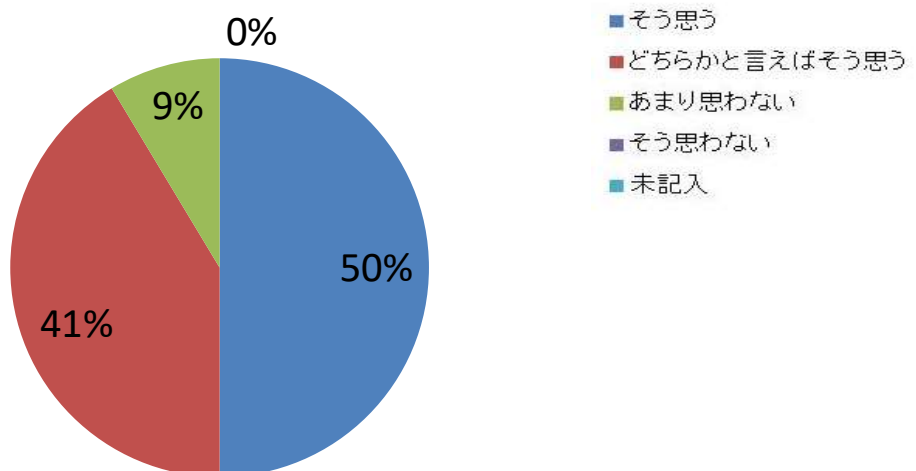
Q1 「あなたの業種は何ですか？」

・1.ソフトウェア開発 24件 2.公務員 3件 3. 情報通信、プログラマー、営業事務、通信業、サービス業 各2件 4.事務・情報発信、開発・保守、SE、庶務、インターネットサービスプロバイダ、インフラ構築・運用支援、Webマーケティング、専門学校教諭、情報サービス、営業、ウェブデザイン、ディレクション、地方創生、コウコクデザイン業、ラジオ放送、PC販売・修理・サポート、PC販売・サポート、小売業、Web制作・フロントエンドエンジニア、IT、Webエンジニア 各1件

Q2 「5年前と比較して、島の情報産業は活性化していると感じますか？」



Q3 「あなたは情報分野において新しいことにチャレンジしたいと思いませんか？」



情報分野の個別質問

Q4 「あなたがチャレンジしたい内容について具体的にお聞かせください。」

- ・スキルアップ（情報発信等）
- ・ソサエティ5.0への取組み
- ・情報発信
- ・管理業務の改善・向上
- ・若い世代への技術共有
- ・AIなどの新しい技術を試す
- ・奄美に直接かかわることのできる新規事業
- ・自分自身のスキルアップ。言語を学ぶ。チームで開発を行う。
- ・スキルアップ、フリーランス化
- ・関連分野に関する知識の拡大、人脈拡大
- ・島外からのさらなる発注を目指す。ニアショアの有効活用。
- ・新しい分野開拓、人材教育
- ・観光地、奄美文化の情報発信（WEBコンテンツの充実）
- ・私個人ではないが、若い人材の育成に関わっていきたい。
- ・スキルアップ、（機械学習系）首都圏からの案件獲得、資格取得。・業務経験のあるUターン、Iターン者の採用
- ・スキルアップ、設備投資
- ・新しい事業を開始したい
- ・テレワーク普及に伴う事業及び組織拡大（移住者受け入れ強化等含む）
- ・5Gの使い勝手、特に遠隔技術、自動運転の活用が個人的に気になります。
- ・事業拡大、雇用創出
- ・クラウド環境のスキルアップ
- ・資格取得（スキルアップ）
- ・事業拡大、サービスの地域をふやす
- ・本業の通信業に関連した事業の確立
- ・託児所を増やしたい
- ・ウェブ開発者のコミュニティ構築
- ・SNSやサイト等インターネットを活用した情報発信
- ・5GとAIを活用した地域活性システムの構築
- ・住民の大半がもっとラジオを身近に参加、利用する事
- ・継続
- ・pythonの学習 vue、jsなどフレームワーク学習
- ・設備投資（店舗、事務所スペースの拡大）、サポート要員の確保

Q5 「新しいことにチャレンジするうえで、課題と感じていることをお聞かせください。」

- ・費用対効果
- ・即効性のある情報発信、情報の集約
- ・自身の時間の使い方、注意力、コミュニケーション
- ・どのようにして興味をもってもらうかということ
- ・時間
- ・自分の腰が重い
- ・需用がどんなものにあるのか、コストがどの位かかってしまうのか
- ・自己アピール力が弱い。自分から声をかけていく力も弱い。システム開発についての基礎知識も低い。
- ・目的の講習などが市内で行われない
- ・生活基盤の安定。目的明確化。
- ・首都圏に負けない島のエンジニアの技術力をうまく発信出来ていない。
- ・気力
- ・施設不足
- ・資金、時間
- ・若い人達の仕事に対する熱意が少し足りないように思う。
- ・業務経験者にUターン、Iターンさせるための魅力(賃金、暮らしなど) ・資格取得のために本土まで行かなければならない。例えばリゾートワーカーのために、半年くらい格安で借りれる物件があると技術者を呼びやすい。
- ・島内に情報セキュリティのハイパーエキスパートがおらず個人情報保護等に関するマナーマップ、モラルアップ、スキルアップの機会がない。今後ますます必要とされると思われるテレワーク等に関しリスク管理の温度差が激しい。
- ・資金や人材面
- ・島内でのコネクション強化・移住希望者等の情報キャッチアップ&コネクション構築・テレワーク体制の強化(制度・インフラ)・移住ハードルの低減(費用・住居・情報等)
- ・人材、モチベーションを上げる手段。
- ・I・Uターン者の積極的な移住促進 若者の島外流出阻止対策
- ・IT関係は日々新しい技術が開発され、個人で楽手、取得するには中々難しいと感じます。
- ・自治体とのコミュニケーション

・私生活で忙しく、業務外の時間が取りにくい状況かつコロナの影響で気軽にセミナーに参加出来なくなった。※実際に夏の鹿児島研修はキャンセルとなりました。今年度は「気軽に参加」というワードは難しいと思います。実際に現地に行き、研修やらセミナーを受ける流れが、今後は遠隔で参加の動きが増えると思います。よくある課題になりますが、個人でも会社でも設備投資、PC遠隔操作経験が必要なのかと思います。

- ・認知度アップ
- ・直行便の実現
- ・オフィス用物件、コワーキングスペースの不足
- ・イベントスペースや気軽に打合せなどができる施設
- ・写真、動画の撮影・編集をする技術
- ・家庭との両立
- ・実行するこちら側の人数と実行力不足
- ・気力・体力
- ・年令

～アンケートコメント一覧～

- 「結いの精神」考えた事なかった
- 「結いの精神」島に嫁として来たけれど、島の人にとって都合のよいものだと多々感じてきた
- したくても高齢でできない。
- 行政が見えない
- 高齢の為回答出来ません。
- 総結果を知りたいです。
- DCT度Q1Q2Q3→新型コロナ感染症の影響が大きいと思います。
- 新型コロナ感染症の影響が大きいと思います。
- この度のコロナウイルスでは観光業の方が非常に苦しんでいる。離島では、医療体制に十分に配慮しながら島外からの来島者を迎える準備が大事になると思います。やはり、農業従事者を大事にし自分達の島で自給自足ができる様に昔の稲作を復活して欲しいと思います。
- コロナ対策でなるべく人に会わないようにしてるため分かりません
- 11月しか住んでいません
- コロナウイルスの為顔を合わす機会が少ない
- 期間が短いのでは？
- キバって下さい
- 昔程ではないが、地方に於いては結の精神が活かされていると思う。自己中心で引っ越しして来ても挨拶すらない。自治会の活動も原点に戻って地域にあった活動が望ましい。群島成長戦略ビジョンについてのアンケートであれば、もっと具体的に住民の思考が分かる内容のものであってほしいと思いました。
- まだ半年しか住んでいないのですが
- アンケートに何の意味があるのか分からない。年寄りが多いのに仕事はなく、若い人達は都会に憧れてるのに若い人達に島の思いがあるとでも。仕事もないのに、こんなアンケートに意味などないと思う。コロナだって、どうなるのか分からないのに、都会から島に来るのに、いったんコロナが島に広がれば年寄りは死に直面するのに、どうせ日本はなくなるのに何をしてもおかしいと思う。バカみたい島に都会の人を入れないなら分かるけど、仕事があればいいけど、若い人の仕事などないにおかしすぎる。みんな思ってる事なのではありませんか？
- 一年前に島外にいたため答えられません。
- 応援しています。
- ドリームカムトゥルーでどのような事をしていたのかわからない。例などを出していたら少しはわかったかもしれないが…。

- DREAMS COME TRUE一どこかで耳にした言葉と思いました。あっ！ そうだ！！ミュージシャン「ドリカム！」と思い思わず失礼ながら笑ってしまいました。関係各位様達の奄美大島に対する熱い思い、試行錯誤の末のネーミング粋(意気)に感じる事が出来ました。私は今古希です。孫が今年高校生になり彼の現在の高校生活に照らし合わせて若者に対する設問の個所はチェックさせて頂きました。
- 希望 徳之島町内に水族館を作ってほしい。結果→観光客がふえますよ！！
- せつかくのアンケートですが今、コロナで世界中大変な時にピントがずれています。日々が不安でいっぱい、私は60代後半で先は知れていますが、子や孫n将来を心配するばかりです。
- 世界遺産登録に向けて自然も大切にしつつ沖縄県の石垣島、宮古島に観光客誘致の例を学ぶべきだと思います。徳之島より面積の小さい石垣島は人口が5万人弱でどうしたら人を呼び込めるのか？視察等々されても良いのではと思います。
- 3分野に関して、行政の本気度を感じない。頑張れ！！
- チャレンジしている若者が増えたと思う。個として多数にはなっているが、連携横とのつながりは希薄。仲間、地域、青年の団体を引っ張っていくリーダー格が昔と比べていないと思う。自己の時間、労働、身体を世の為に使う事が出来ないと人はまとめられない。夢実現、チャレンジ、若者の活発、は自己の問題。確かに増えたと思う。SNS発信でネットワークが広がっているという錯覚。広域事務組合も個のチャレンジをバックアップする。イベント企画などの人材への助成も考えて地域の老若男女のつながりを深めるようになればと思う。アイデア、生品活発だけでなく。